

GIGAスクール構想をはじめとする令和の日本型教育モデル事業

1 個別最適な学び

(1) 不登校児童生徒に対するICTを活用した学習支援の実施

① 適応指導教室いきいきほっとルームの更なる活用

- ・学びのサポーターを活用
 - ・地域ボランティアによる支援
 - ・ICTによる学習支援
- } → 来年度の実施に向けて準備を進める
- ・オンラインツール(oVice)を活用した仮想教室を運営 → 2学期より試験的導入

② 空き教室を活用した適応指導教室の開設(小学生対象)

→ 生駒南第二小学校での実施に向けて準備を進める

(2) 個に応じた目標設定、スキルアップを図る授業改善

- ・「学び合い」の授業スタイル…教員の研修 → 小中全教員対象に夏期研修を実施
- ・AIによる個別の習熟度診断・対策…アプリの試験的導入 → 希望校(南小・南中)で実施予定

2 協働的な学び

SDGsをテーマとした探求学習の実施 ～SDGsを自分のこととして考える活動を通して～

- ・2030年の世界を想定し、未来に向けて今何ができるか子どもたちが考える契機に
- ・テーマは、命、平和、環境、人権、多様性、生き方など SDGsに関わる内容
- ・世界に目を向けるとともに、自分たちの地域や身近なことにつなげる → グローカル
- ・SDGs推進課、大学、現地の日本人学校、グローバル企業等と連携
- ・テーマ及び具体的な実践内容や方法は、教育委員会からの提案、モデル校の取組等を踏まえて、協議、決定する
- ・7月にモデル校の選定、内容の協議、8月に計画・準備を進め、9月より実施する

① 生駒南第二小学校 縦割りグループ

未来創造プログラム「地域のデジタル図鑑を作ろう」

先端大 松田先生、地域・保護者

② 生駒小学校 6年生

「校区-生駒市-日本-世界の視点で考えるSDGs」

都市計画課、SDGs推進課、大分大学 河野先生

→ 来年度以降、市内全校で、各校の特色や地域性を生かし、「SDGsを通じた探求学習」の実現を目指す。